

いちよう

11月号

栃木市立藤岡小学校だより
令和3年11月9日発行
文責 校長 藤間 亮子

【教育目標】豊かな心を持ち、元気で学び合う児童を育む

早いもので2学期も後半になりました。10月は予定どおり運動会や校外学習等たくさんの行事が実施でき、校内・外で子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。特に、校外学習では、5年生の渡良瀬遊水地環境学習をはじめとして、各学年とも地域や栃木県内の自然や産業やそこで働く方々から学ぶ機会に恵まれ、見学や体験活動を通して多くのことを学んでいました。

これから、寒さが増してまいります、子どもたちが元気に登校し楽しく学習できる学校づくりに引き続き努めてまいります。ご家庭のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



【宇都宮動物園にて】

大運動会 10月16日(土)

～心を一つに勝利の道へ 年に一度の真剣勝負～

各ご家庭2名にはなってしまいましたが、当日、多くの保護者の皆様にご観覧いただき、子どもたちの競技、演技をご披露することができました。スローガンの通り、紅組も白組も力一杯競い合う姿をお見せできたのではないかと思います。中でも、5・6年生の応援団は、すべての競技で休まず応援し続け、士気を高めました。上級生全員が裏方として係活動を行いました。責任をもって役割を果たし運動会の成功に貢献しました。勝負が終わったあとは、一つの藤岡小として、良い学校づくりに心を合わせて協力させていきたいと思ひます。



【応援団】

ドリーム スクール キャラバン (走力Up!教室) 6年生対象

ドリーム・スクール・キャラバンは、100M”10秒5”という記録をもつ荒川 優(あらかわ ゆう)選手を講師にお招きし、速く走れる「コツ」を伝授していただく授業です。「伝授」とはいいながら、荒川先生の上手なリードによって、子どもたちはどうやったら速く走れるかを、「自分自身で考える」ということを学んでいました。30分の練習で確実に速くなったことを体験して、ただやるのではなく「考えてやる」ことの大切さを実感していました。オリンピックを目指していたという荒川先生の言葉には、とても重みがあり、これからの人生に生きるメッセージと感じました。



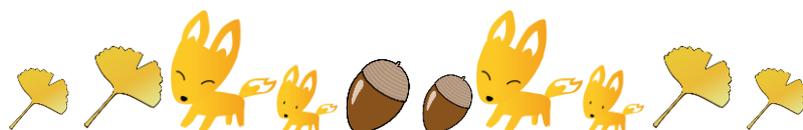
【10月7日(木)】

読書旬間 10/19～29

読書に親しもうと、図書委員会による企画で楽しむことができた10日間。1/2多読賞表彰。おすすめの本紹介。クイズ。代表児童による読書感想文の朗読。先生による読み聞かせなど、盛りだくさんでした。

中でも、コロナ禍のために昨年来行われていなかった地域のボランティアの皆様による「読み聞かせ」は、どの教室でもワクワクして待っていました。

子どもの頃に身につけた本に親しむ習慣は一生の宝物になります。お子様の読んでいる本を一緒にご覧になったり、感想を話し合ったりして、秋の夜長をお子様との楽しい会話でお過ごしください。



学校開放日 11/17・18

今年の学校開放日は、11月17・18日の2日間、自治会別に行います。お忙しいところ恐縮ですが、日頃の学習の成果をご覧いただきたく、万障お繰り合わせの上、ご来校ください。

どうしてもご都合がつかない場合には、指定の日でなくてもご参観いただけますが、感染症拡大防止を考慮して人数の調整をしておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



【ボランティアによる読み聞かせ】

ホームページを
ご覧ください！



本校の教育活動のようすをはじめ、様々な情報を迅速にお届けするため、随時更新しております。

運動会、1・2・3年生の校外学習等を配信しておりますのでご覧ください。また、ぜひ各記事への【投票】をお願いします。



教育委員の皆様による学校訪問

11月1日に、栃木市教育委員会から3名の教育委員の皆様が本校にいらっしゃいました。3・4校時の授業をご参観いただきながら、教室をはじめ学校全体の様子をご覧いただきました。コロナ禍になって、初めての学校訪問の機会だったということで、授業でどのようにタブレットを使っているのかなど、関心を持ってご覧いただきました。

参観後の意見交換では、タブレットで算数の問題を解いている授業でのシーンと静まりかえった子どもたちの集中力や、大型テレビに映し出された関ヶ原の戦いの絵から学ぶ社会の授業のインパクトなど、授業について良い感想をいただきました。また、授業以外にも教室掲示などから、子どもたちが主体的に話し合いを行っている学級活動の様子、子どもの学級づくりへの参画意識を高めた係活動などにも目をとめていただき、お褒めの言葉を頂戴しました。

日頃の積み重ねの成果を、外部の方に評価していただく機会はとても貴重です。これからも教職員一同、鋭意努めて参ります。